issa | 国際社会保障協会

# 年次報告
## [ 2011-2012 年]

www.issa.int

issa

# データで見る ISSA

## 国際社会保障協会

国際社会保障協会は、社会保障機関を繋ぐ、世界をリードする国際機関です。ISSAは優れた社会保障運営の支援を通じて、グローバル化する世界の中で社会的側面としてのダイナミックな社会保障を推進します。

ISSAは世界中でダイナミックな社会保障制度を構築し推進するため、加盟機関に情報、専門家の助言、社会保障の基準とグッドガバナンスガイドライン、ベンチマーキングの機会、グッドプラクティスおよび討論の場を提供しています。

1927年に設立されたISSAは、ジュネーブの国際労働事務局に本部を置いています。

## 事実と数字で見る ISSA

特に断りのない限り、数字は全て2011年に関するものです。

**157**カ国
**335**の加盟機関（2012年5月現在）

ISSAのイベントへの参加者
**1,142**人
（2011年6月から2012年4月）

ISSAウェブサイトのページビュー
**1,082,186**回

『国際社会保障レビュー』の記事のダウンロード
**44,576**件

ISSAのデータベースに記録された社会保障のグッドプラクティス
**172**件

ISSAの『社会保障メディアモニター』で発表されたニュース
**1,250**件

世界社会保障フォーラムと第31回ISSA総会が2013年11月10日から15日までカタールのドーハで開催されます。このフォーラムは、知識を共有し、新しいガイドラインと実践的ツールを紹介し、優れた社会保障運営のための革新的戦略について他に類のない討議の機会を提供します。

このイベントはカタールの一般退職・社会保険庁（General Retirement and Social Insurance Authority）が主催します。

詳しくはウェブサイトをご覧ください：
www.issa.int/wssf2013

# ガバナンス

ISSAの意思決定主体は総会、評議員会、役員会、監査委員会です。

## ISSA役員

会長：エロル＝フランク・ストゥーブ（オランダ）

副会長：ソリマン　S. アルフマイド（サウジアラビア）

会計役：フィリップ・コヌス（スイス）

事務総長：ハンス＝ホルスト・コンコルスキー（デンマーク）

総会

評議員会

役員会

監査委員会

事務局

事務総長室　地域組織

社会保障オブザーバトリー　社会保障推進　リソース・サービス

技術委員会 予防特別委員会

## 技術委員会

ISSA加盟機関の専門家で構成されるISSAの技術委員会と予防特別委員会およびその国際予防部門のネットワークは、ISSA3カ年計画の一環として次のような様々な会議と調査を実施しています。

- 雇用政策と失業保険
- 統計・保険数理・財務研究
- 家族給付
- 予防特別委員会
- 労働災害・職業病保険
- 情報通信技術
- 社会保障基金運用
- 老齢・障害・遺族保険
- 医療・疾病保険
- 共済組合
- 組織、運営管理、革新
- 政策分析・研究

# 一年を振り返る

**世界の社会保障の推進と発展に寄与するISSAの能力とアウトリーチ活動は、この1年で大幅に増強されました。これは特に、今後世界をリードする社会保障機関の国際組織としてのISSAの役割をさらに強化し、将来を方向付ける2つの断固としたイニシアティブが取られたことによるものです。**

一連の実践的ツールとガイドラインの作成が決定されたことで、優れた社会保障運営の推進に対するISSAの取り組みに、新たな勢いがつきました。2010年に世界社会保障フォーラムで紹介されたグッドガバナンスのガイドラインを土台として、今年ISSA事務局は優れた社会保障運営センターの基礎を築きました。

優れた運営のためのISSAセンターには、社会保障運営の一連の国際専門基準、自己評価ツール、グッドプラクティス、ベンチマーキングの機会および加盟機関の優れた業績の表彰が含まれています。このイニシアティブは、世界の加盟機関の能力強化を図るためのISSAの目標に合わせて、これからISSAが加盟機関に提供していくサービスと付加価値を大幅に強化できる可能性を秘めていると確信しています。

次に、ISSAは、社会保障の適用範囲拡大戦略の発表に続き、2011年に開催された第100回国際労働会議で社会的保護に関する討議に積極的に貢献しました。この会議には国際労働機関（ILO）の183の加盟国の代表が参加しました。この会議の成果のひとつが、ISSAとILOとの85年に及ぶパートナーシップの中で初めての覚書の署名でした。この歴史的合意は、社会保障の適用範囲拡大を中心とするISSAとILOの能力の補完性と連携強化の可能性を認め、両機関にプログラムと戦略に関するより緊密な協力を課すものです。

加盟機関に高い価値を提供することを目指して、ISSAは再び、幅広い優先課題について経験を交換する様々な他に類のない機会を加盟機関に提供しました。この一年には、世界労働安全衛生会議とアフリカ地域社会保障フォーラムをはじめとする、加盟機関のニーズと優先事項に対応する大きなイベントが次々と開催されました。この会議とフォーラムについては、本年次報告で概要を紹介しています。さらに、実用的ツールの活用の増進と主要イベントのメディア報道の強化を通して、ISSAはその知識とサービスを全ての地域の加盟機関にとってより身近なものにしました。

2013年にカタールで開催される世界社会保障フォーラムの準備が始まっています。このフォーラムは、ISSAの3カ年プログラムの頂点を画し、世界中の社会保障のリーダーに特別な意見交換と討論の場を提供します。

この年次報告の場をお借りして、この一年にイベントと地域組織の運営の労を惜しまず協力していただいた多くの加盟機関の方々にお礼を申し上げます。今年も、ISSA加盟機関の支援と献身が当協会の力強さと活力を高めてくれました。事務局と地域のISSAスタッフの際立った努力と成果にもお礼申し上げます。

ISSA会長
エロル＝フランク・ストゥーブ

ISSA事務総長
ハンス＝ホルスト・コンコルスキー

# 優れた社会保障運営

**社会保障制度の運営管理には、管理・業務面での最適な業績という目標が不可欠です。**

## 社会保障運営のガイドライン

ISSAの目標は、適切で質の高い製品とサービスの提供を通して、優れた運営に向けた加盟機関の前進を援助することです。社会保障の管理者向けの実践的ツールの作成は、現行のISSAプログラムの中心をなす要素です。2010年の社会保障機関のグッドガバナンスに関するガイドラインの発表に続き、ISSAの事務局は、現在、社会保障運営の他の重要分野に関するガイドラインの作成に優先的に取り組んでいます。このガイドラインは、社会保障機関に専門基準、自己評価ツール、グッドプラクティスソリューションを提供し、社会保障運営機関の能力を高めるISSAの戦略の一環をなすものです。

現在ISSAが作成中のガイドラインでは、社会保障基金の運用、サービスの質、社会保障におけるICT、コンプライアンスと保険料の徴収、予防と職場復帰を含む多様な分野が網羅されています。

## 社会保障運営機関の国際比較（バロメーター）

社会保障運営機関の国際比較（バロメーター）によって、社会保障の管理者は、自分が管理する機関の管理業績を、主要な指標に基づいて世界基準およびグッドプラクティスと比較することができます。

このベンチマーキングツールによってもたらされる情報は、社会保障機関が、現状を評価し、各国レベルでの業績の認知を目指して業績向上戦略を策定するのに役立つことでしょう。

ISSA社会保障機関のためのグッドガバナンスガイドライン:
www.issa.int/goodgovernance

# 国際レベルでの社会保障の推進

## ISSAは国際労働機関(ILO)との戦略的パートナーシップを正式な形にしました。

ISSAの付託任務の中核は、全世界で社会保障の発展を推進することであり、ISSAは全力を挙げて国際レベルで社会保障を支えています。ISSAは2011年6月にジュネーブで開催された第100回国際労働会議(ILC)での国連「社会的保護の床(Social Protection Floor)」に関する討議に積極的に貢献し、社会保障の適用範囲拡大のためのISSAの戦略の認知度を高めました。

ILCの討議のひとつの成果として、ISSAは社会保障分野での協力を強化する国際労働機関(ILO)との合意を覚書という正式な形にしました。この覚書は、ISSAとILOの能力の連携強化の可能性を認め、両機関に、多くの重要な分野でのプログラムと戦略に関するより緊密な協力を課すものです。85年前にISSAがILOの支援により設立されて以来、プログラムに関する協力にかかわる初めての合意です。

ISSAは、相乗効果および専門知識の交換を促進するため、地域レベルや国際レベルで他の多くの機関との協力と戦略的パートナーシップも強化しました。

国際労働機関

覚書には、アサン・ディオップILO社会的保護総局長(左)とハンス＝ホルスト・コンコルスキーISSA事務総長が署名しました。

# グローバルな予防の文化

**世界労働安全衛生会議は、安全で衛生的な労働環境の確保で社会保障が果たす役割を確認しました。**

ISSAは2011年9月11日から15日にかけてトルコのイスタンブールで開催された第19回世界労働安全衛生会議を共同主催し、この会議始まって以来の多数の安全衛生専門家が集いました。

会議出席者は、仕事場での安全衛生に影響を及ぼしている、経済危機の影響、ナノテクノロジーなどの新技術の潜在的リスク、気候変動、グローバル化の影響、また移動の増大と非公式経済の拡大といった動向を明らかにしました。ますます複雑化する安全衛生の課題に取り組むには、リスク防止、健康促進、就労復帰政策を組み込んだより統合的で全体的なアプローチが必要です。

代表は、ディーセントワークが安全な仕事であることを求める呼びかけと、グローバルな予防文化の構築・維持への新たな取り組みを求める訴えで会議を締めくくりました。

会議でISSAは、労働安全衛生への投資の経済的費用便益を測定する、予防がもたらす利益に関する調査結果を発表しました。調査では、介入に関するデータを比較し、15カ国30社での実践を分析しています。調査結果は、予防への投資の収益性は2.2倍にもなり、予防的な健康診断や安全訓練への投資といった直接的介入では、さらに大きくなる可能性があることを示しています。ISSAはこの調査に関する最終報告を2012年までに発表する予定です。

世界会議はISSAが国際労働機関(ILO)と共同主催し、トルコの労働社会保障省がホストを務めました。

ウェブサイトにドキュメント、ビデオ、写真があります：
www.issa.int/worldcongress2011

## 第8回労働安全衛生にかかる国際フィルムマルチメディアフェスティバル

会議のハイライトは、30カ国から232本のエントリーがあった国際フィルムマルチメディアフェスティバルでした。会議の閉会式では、審査員団が、ブラジル、スイス、英国からの作品にフィルム部門の最優秀賞を授与しました。マルチメディア部門では、スウェーデンの作品が　最優秀賞を受賞しました。

ウェブサイトにドキュメント、ビデオ、写真があります：www.issa.int/8thIFMF

# 世界のISSA

★ 事務局
■ 連絡事務所
▲ フォーカルポイント（活動拠点）

## アフリカ

**中央アフリカ連絡事務所**
カメルーン（ヤウンデ）の全国社会保険基金
（National Social Insurance Fund）が活動拠点

**北アフリカ連絡事務所**
モロッコ（カサブランカ）の全国社会保障基金
（National Social Security Fund）が活動拠点

**南アフリカ連絡事務所**
南アフリカ（プレトリア）の社会開発省
（Department of Social Development）が活動拠点

**西アフリカ連絡事務所**
コートジボワール（アビジャン）の社会保険機関
（Social Insurance Institute）が活動拠点

**東アフリカフォーカルポイント**
ケニア（ナイロビ）

## アメリカ

**アンデス諸国連絡事務所**
ペルー（リマ）のDerrama Magisterialが活動拠点

**北中米連絡事務所**
メキシコ（メキシコシティ）の国家被用者社会保障・社会サービス機関（State Employees' Social Security and Social Services Institute）が活動拠点

**南米コーノスール連絡事務所**
アルゼンチン（ブエノスアイレス）社会保障庁
（National Social Administration）が活動拠点

**ポルトガル語諸国フォーカルポイント**
ブラジル（ブラジリア）の国民社会保障機関
（National Institute of Social Security）が活動拠点

## アジア・太平洋

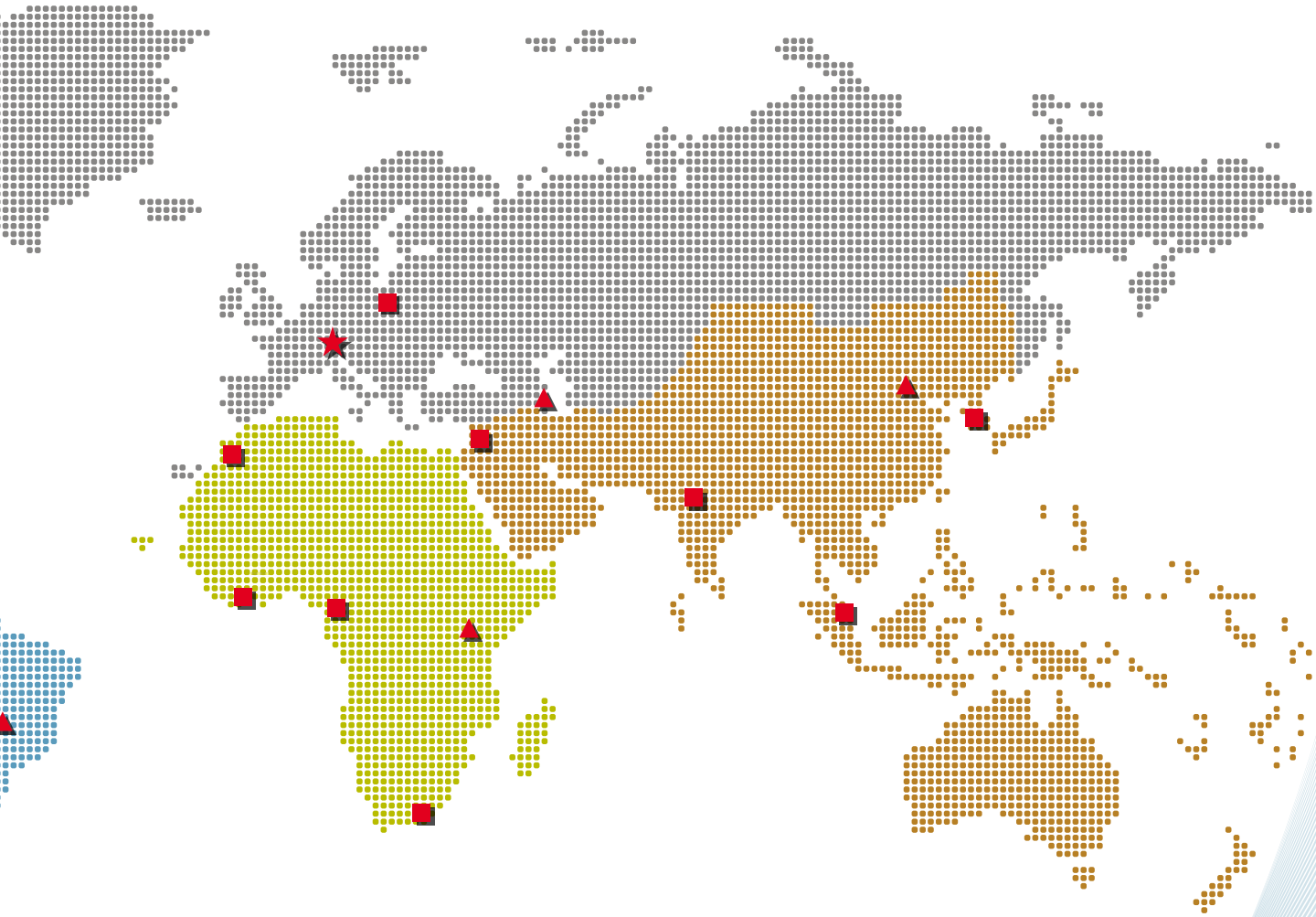
**アラブ諸国連絡事務所**
ヨルダン（アンマン）の社会保障公社
（Social Security Corporation）が活動拠点

**東アジア連絡事務所**
大韓民国（ソウル）の国民医療保険公団
（National Health Insurance Corporation）が活動拠点

**南アジア連絡事務所**
インド（ニューデリー）の国営従業員保険公社
（Employees' State Insurance Corporation）が活動拠点

**東南アジア連絡事務所**
マレーシア（クアラルンプール）の従業員準備基金
（Employees Provident Fund）が活動拠点

**中国加盟機関のフォーカルポイント**
中国（北京）の人材社会保障省社会保険庁
（Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security）が活動拠点



## ISSA加盟機関（2012年5月現在）

| | 正会員 | 準会員 | 合計 |
|---|---|---|---|
| アフリカ | 75 | 10 | 85 |
| アメリカ | 44 | 13 | 57 |
| アジア・太平洋 | 47 | 17 | 64 |
| ヨーロッパ | 101 | 28 | 129 |
| 合計 | 267 | 68 | 335 |

# ヨーロッパ

**ISSA ヨーロッパネットワーク**

ポーランド（ワルシャワ）の社会保険機関
（Social Insurance Institution）
が委員長を務める運営委員会

**ユーラシアのフォーカルポイント**

アゼルバイジャン（バクー）
の国家社会保護基金
（State Social Protection Fund）
が活動拠点

# アフリカに社会保障の時代

## アフリカ地域社会保障フォーラムは、アフリカ地域での持続可能な発展への社会的保護の貢献をクローズアップしました。

**アフリカ諸国の政府は、社会的保護を、貧困と不平等に対処し、市民の全般的健康と福祉とを推進する手段として用いるようになっています。2011年12月5日から7日までタンザニア連合共和国のアルーシャで開催されたアフリカ地域社会保障フォーラムでは、この地域の経済と社会の発展のために不可欠な社会保障の貢献に焦点が当てられました。**

フォーラムには、アフリカ諸国35カ国の大臣、社会保障機関の最高運営責任者、シニアマネージャーを含む250名ほどが参加し、社会保障適用範囲拡大の進展状況、給付の妥当性、情報通信技術の活用における革新を分析しました。アフリカのほぼすべての国々に社会保障制度がありますが、その多くは現在範囲拡大途中であり、大半の市民はまだ社会的保護を受けることができません。

ISSAは、フォーラムで発表された報告『アフリカ：社会保障の新たなバランス（A new balance for social security）』で、アフリカ大陸でみられる社会保障の最近の進展と傾向の分析を発表しました。この報告は、以前には保護されていなかった労働者、高齢者、家族への拡大を含む、適用拡大に成功した社会保障制度の例とグッドプラクティスを紹介しています。フォーラムの参加者は、社会保障機関が、適用拡大、特に非公式セクターと農村住民への拡大を阻む執拗な障害に直面していることを確認しました。

フォーラム参加者は、社会保障機関に対して、協力とパートナーシップを拡大し、従来の任務の範囲を超えて社会保障適用拡大への貢献に向けて行動し、予防の取り組みと給付の妥当性をさらに重視するように呼びかけました。

ウェブサイトにドキュメント、ビデオ、写真があります：
www.issa.int/rssf-africa11

# ISSA
# アフリカグッドプラクティス賞

フォーラムでは、タンザニア連合共和国の全国健康保険基金（National Health Insurance Fund）が、この国での医療サービスの利用可能性を高め、健康保険を受けることができる国民を増やした医療給付パッケージと医療施設の改善に対する戦略的取り組みに対して、ISSAアフリカグッドプラクティス賞を受賞しました。

この受賞を選出した国際審査員団は、さらにカメルーン、カーボヴェルデ、ルワンダでの社会保障のグッドプラクティスを讃えて、この3件に優秀賞を授与しました。これ以外にも、審査員団はアフリカ地域の多くの社会保障イニシアティブに優秀賞を授与しました。

ISSA社会保障グッドプラクティスデータベース：
www.issa.int/goodpractices

# 社会保障制度の持続可能性の確保

## 長期的持続可能性を確保するために社会保障機関は変革しなければなりません。

**人口構造の変化、不安定な経済、社会的要求が、多くの年金制度と社会保障基金の持続可能性を圧迫しています。2012年3月にアブダビで開催された運営管理者と専門家の国際的セミナーでは、一部の制度が採用した革新的で先見的な取り組みが討議の的になりました。**

セミナーの講演者と専門家パネリストは、持続可能性という課題への社会保障機関の取り組み方法を、運用とリスク管理の方針と実践、柔軟な退職制度を含めて検討し、分析しました。

世界中の社会保障基金が大きな運用ポートフォリオを管理しています。セミナーのプログラムには、社会保障基金の共通の運用方針を定めるための新しい一連のISSA運用ガイドラインの再検討が盛り込まれました。また、退職への柔軟なアプローチの導入、年金制度の資産負債管理経験に対する意見交換も行われました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください：

www.issa.int/abudhabi2012

# 社会保障における情報通信技術

## ICTは大規模な社会保障制度の実施と市民中心の総合的サービスの開発に寄与することができます。

社会保障機関に対し、大規模な社会保障制度の展開と、弱者集団への包括的保護の提供を求める声がますます高まっています。多くの場合、そのためには複合的な管理ツールが必要です。

第13回社会保障におけるICT（情報通信技術）に関する国際会議が2012年4月17日から20日までブラジルのブラジリアで開催され、大規模な社会保障プログラムの実施と市民中心の総合的サービスの開発の鍵を握るICTの貢献が取り上げられました。

社会保障機関は、新技術を利用し、また、例えば国際協定によってもたらされる社会保障機関間および業務間でのデータ交換を可能にする特定のプログラムの統合を行うなど、利用者重視の取り組みで最先端を走ってきました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください：
www.issa.int/ICT2012

ICT2012

# 社会保障の適用範囲の拡大

## ISSAは社会保障の適用範囲拡大戦略の策定を続けています。

**適用範囲拡大は今日の社会保障にとって最大の課題のひとつです。調査によれば、世界人口の70パーセントから80パーセントが包括的な社会的保護を受けられる状況にないと推定されています。**

2010年の世界社会保障フォーラムにおいて、最初のISSA社会保障適用範囲拡大戦略が紹介されました。この戦略は、適用範囲拡大の優先課題、社会保障機関にとっての具体的機会および適用範囲拡大に向けた社会保障機関の行動計画を定めるISSAの協調プロセスを定めています。また、持続可能な適用範囲拡大には、グッドガバナンス、優れた資金調達および社会保障制度の優れた運営が必要であることをこの戦略では認識しています。

ILOからの要請に応じて、ISSAは2011年国際労働会議で行われた討議に、社会的保護の戦略的目的に関する声明を出しました。このISSAの声明は、適用範囲拡大への社会保障運営機関の具体的貢献の重要性を強調しています。会議の成果のひとつとして、ISSAは、ISSAとILOに社会保障の適用範囲の分野で緊密なパートナーシップを課すILOとの覚書に署名しました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください：
www.issa.int/extension

# ブリックス諸国での適用範囲の拡大

ブリックス（BRICS）とは、世界の人口の40％、世界のGDPの20％を占めるブラジル、ロシア連邦、インド、中国、南アフリカのことです。近年、ブリックス諸国は、急激な経済成長とそれに伴う政治的地位の上昇だけでなく、社会的保護への多大な取り組みと社会保障適用範囲の目覚ましい拡大によっても、国際的に抜きん出てきました。

このような重要な動向を考慮して、ISSAは、適用範囲拡大に特に重点を置いて、ブリックス諸国で社会保障の進展状況を監視するプロジェクトを開始しました。

この他に、ISSAは適用範囲拡大のための2つの明確な優先事項にも重点的に取り組みました。まず、ユーラシア諸国との新しいイニシアティブがあります。このイニシアティブは、移動労働者の社会的保護に関する経験の意見交換と共通原則の特定を可能にしています。これと関連したもうひとつのイニシアティブで、ISSAは保護対象からはずれることの多い自営業者への適用範囲拡大に関する実践的手引を発表しました。

詳しくは www.issa.int/BRICSをご覧ください。

# 社会保障知識のための ISSA情報源

## ISSA社会保障ウェブポータル およびデータベース

ISSAウェブポータルはISSA特有のナレッジベースや情報源へのアクセスを促進します。ポータルは社会保障にかかる各国の制度および改革のデータを含んでいます。ISSAウェブポータルは、世界各地の社会保障発展に関する総合的な情報、ニュース、データおよび分析結果を提供します。なお、エクストラネットへのアクセスは、加盟機関のみ利用できます。

www.issa.int

## 出版物および定期刊行物

### 国際社会保障レビュー

初版1948年、国際社会保障レビューは、社会保障分野において4半期ごとに刊行される最も主要な刊行物です。各国の社会保障制度研究だけでなく、社会保障運営におけるグッドガバナンス特集も含めた最新の課題に対する国際比較、議論を精鋭の社会保障専門家が提供しています。

英語、フランス語、ドイツ語およびスペイン語版があります。

**www.issa.int/review**

### 社会保障ハイライト

ISSAの定期刊行物として、読みやすいフォーマットにトピックを網羅し、世界の社会保障の重要な課題および進展を簡潔に分析し、提供しています。

アラビア語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語およびスペイン語版があります。

**www.issa.int/SPH**

## 社会保障オブザーバー

4半期ごとのニュースレターである社会保障オブザーバーは、世界の社会保障の進展に焦点を当てます。ニュースレターは、社会保障の主要研究、政策課題の分析、重要な改革の総括、社会保障に注目した最新の刊行物およびISSAのニュース、主要イベントを厳選して提供しています。

英語、フランス語、ドイツ語およびスペイン語版があります。

**www.issa.int/observer**

## 社会保障における進展と傾向

シリーズ刊行であるこの地域報告は、アフリカ、アジア太平洋、ヨーロッパ、南北アメリカの最近の主要な進展と傾向を総合的に分析します。
また、ISSA事務局に集積されている具体的事例、広範囲に渡るデータを用いて、各々の地域において社会保障が直面する主要課題を確認します。

英語版があります。地域によっては他言語版があります。

**www.issa.int/DT**

## 世界の社会保障制度一覧

連続シリーズである世界の社会保障制度一覧は、各巻２年ごとに改定され、各編６ヶ月おきにアジア・太平洋、アフリカ、南北アメリカ、ヨーロッパ編が刊行されます。各巻では特定の地域の社会保障制度の特徴に関する大要が掲載されます。世界の社会保障制度一覧は、アメリカ社会保障庁とISSAの協力によって作成されています。

英語版があります。

**www.issa.int/SSPTW**

## 社会保障機関のためのISSAグッドガバナンスガイドライン

このガイドラインは、役員、上級管理職、運営管理者を対象とした、自己評価ツールキットを含めた実践的ガイドラインの最初のシリーズです。

英語、フランス語、ドイツ語およびスペイン語版があります（加盟機関のみ利用可）。

**www.issa.int/goodgovernance**

その他刊行物は:

www.issa.int/resources

Promoting and developing social security worldwide
Promouvoir et développer la sécurité sociale à travers le monde
Promover y desarrollar la seguridad social en el mundo
Soziale Sicherheit weltweit fördern und entwickeln
Развиваем и поддерживаем социальное обеспечение во всем мире
دعم و تطوير الضمان الإجتماعي عبر العالم
促进和发展全球社会保障


**ISSA General Secretariat**

4 route des Morillons
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17
F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

**www.issa.int**


YouTube
www.issa.int/youtube

flickr
www.issa.int/flickr

www.issa.int/twitter

ISBN 978-92-843-0199-7

**For information on joining the ISSA:**
www.issa.int/join

© AISS 2012. Photos: iStockphoto; BIT/Crozet; AISS; Bill & Melinda Gates Foundation; Andy Kristian Agaba.